

# ひふみのあゆみ 2015年12月07日号

ひふみ投信 2015年11月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークス株式会社  
 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第1151号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ  
 お客様の資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。  
 2015年11月の運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告いたします。

## ひふみ投信の基準価額について

（基準日：2015年11月30日）

基準価額（1万口当り）	34,059 円
純資産総額	280.26億円
受益権総口数	8,228,878,784 口

基準価額とは「ひふみ投信」の値段のことで、

お客様の保有口数合計です

### ■ 基準価額の推移



基準価額は、信託報酬（年1.0584%（税抜年0.980%））を控除した後の数値です。

【注】TOPIX（配当込）は、当初設定日前日である2008年9月30日の値（1311.57）を10,000として指数化しています。

TOPIX（配当込）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。

TOPIXとは東証株価指数のことで、東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額（株数×1株当たり時価）の合計を指数化して算出され、日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。そして、TOPIX（配当込）とは、配当収益を考慮して東京証券取引所が算出・公表している指数です。

### ■ 運用成績について

	基準価額のあゆみ [騰落率]	TOPIX（配当込） 騰落率
過去1ヵ月	5.84%	1.42%
過去3ヵ月	4.63%	3.57%
過去6ヵ月	6.16%	-4.69%
過去1年	23.17%	14.18%
過去3年	141.71%	114.28%
設定来（※）	240.59%	67.75%

※ 基準価額は当初募集価額（10,000円）から2015年11月30日まで、TOPIX（配当込）は当初設定日前日である2008年9月30日から2015年11月30日までにおける数値です。

### ■ 過去5期の分配金

支払済分配金	
第3期（2011年9月30日）	0円
第4期（2012年10月1日）	0円
第5期（2013年9月30日）	0円
第6期（2014年9月30日）	0円
第7期（2015年9月30日）	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

## ひふみ投信マザーファンドの資産内容について

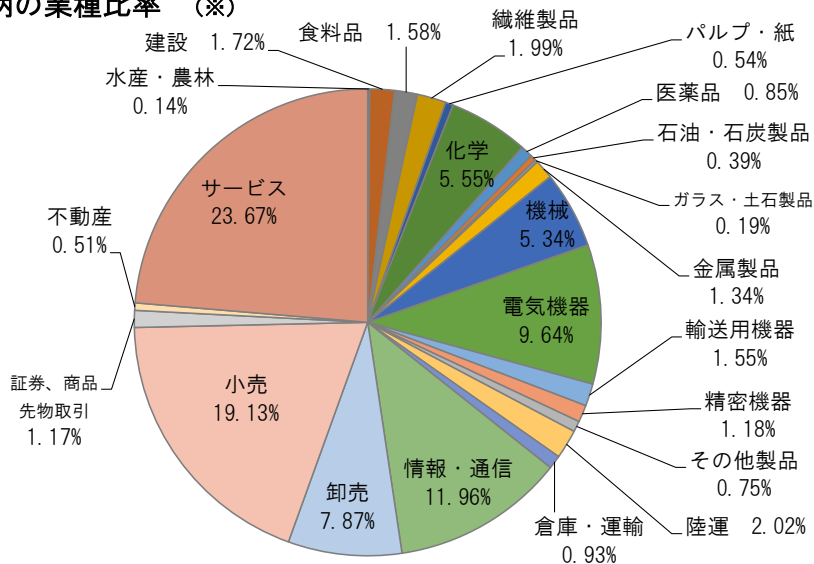
（2015年11月30日時点）

ひふみ投信は、ひふみ投信マザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式等に投資しています。

### ■ 資産の内訳

純資産総額	915.76億円
国内株式	90.86%
海外株式	0.00%
預金その他	9.14%
組入銘柄数	115銘柄

### ■ 組入銘柄の業種比率（※）



### ■ 市場別の構成比率（※）

東京一部	84.54%
東京二部	2.58%
マザーズ	6.05%
JASDAQ	6.83%

（※） マザーファンドの「株式資産」を100として、それに対する割合です。

## ■ 組入比率の高い上位10銘柄 (組入銘柄数：115銘柄)

	銘柄コード	銘柄名	比率	業種	市場	銘柄紹介
1	3076	あい ホールディングス	3.62%	卸売	東京一部	オーナーの佐々木秀吉氏の経営手腕が秀でていて、事業ポートフォリオが安定成長分野で構成されている。
2	6619	ダブル・スコープ	3.51%	電気機器	東京一部	充電池に使われる重要電子部品の一つであるリチウムイオン電池向けセパレーターの専門メーカー。韓国に工場を持ち、中国と米国で販売。車載用充電池の進捗に期待。
3	8227	しまむら	2.40%	小売	東京一部	低価格のカジュアルファッション衣料の大手で、全国に「ファッションセンターしまむら」を展開。従来の郊外型店舗に加えて、都市部や海外にも進出中。デフレ関連銘柄として組入れ。
4	3769	GMOペイメントゲートウェイ	2.30%	情報・通信	東京一部	GMOグループの企業で、日本の電子商取引企業や政府・官公庁などの決済処理サービス企業大手。
5	8252	丸井グループ	2.17%	小売	東京一部	株主還元強化に留まらず、モノ消費からコト消費に対応すべく事業モデルそのものを小売りから不動産型商業施設へと転換。過払い金問題が一巡した金融事業も地方でのカード発行枚数増加によるショッピング収益拡大にも期待。
6	4755	楽天	2.12%	サービス	東京一部	三木谷社長によるトップダウン色の強いインターネット企業。EC化比率の上昇とともに着実に売上・利益を伸ばしている会社。
7	3064	MonotaRO	2.08%	小売	東京一部	工場・工事用間接資材のネット通販最大手。インターネットBtoB関連企業の有望企業の一つで、PER(株価収益率)は高倍率だが成長率が高い。
8	4293	セブテーニ・ホールディングス	2.01%	サービス	JASDAQ	ネット広告代理店の大手。漫画アプリが順調に立ち上がっており、会社の次の成長のけん引役になることを期待。
9	9418	U-NEXT	1.75%	情報・通信	マザーズ	過去、3回上場を果たした宇野康秀社長が率いるオンデマンド映像企業。ほかにもMVNO事業(仮想移動体通信事業)など幅広い業務を抱える。
10	9449	GMOインターネット	1.70%	情報・通信	東京一部	中小企業向けレンタルサーバー等のインフラ事業や、オンライン証券事業などを運営するネット関連企業。熊谷社長の手腕に期待。

(※) 組入比率はマザーファンドの「純資産総額」に対する割合です。

## ◆ 11月の投資環境(株式市場等での出来事)について

11月の株式相場は、為替の円安進行や根強い日本株の先高観を背景に底堅い動きが続き、月末の日経平均株価は前月比3.5%高の19,747.47円に続伸しました。

11月の日経平均株価は、10月末の日銀政策決定会合での追加緩和に対する消極的な姿勢や、中国製造業PMI(購買担当者景気指数)の悪化から大幅安スタートを余儀なくされました。しかしその後、中国サービス業のPMIは改善したことで過度の中国懸念が後退しました。また米国ではFRB総裁が12月利上げの可能性を改めて示唆したことや好調なマクロ指標を受けて利上げ懸念が高まり、米国株は利食い売りに押されましたが、日本株は円安や米景気回復期を好感して力強い動きに転じました。

月半ばに入ると、パリでのテロを受けて16日にはリスク回避の円買い、株売りが進み、日経平均株価は大幅安で始まりました。しかしテロが世界経済に与える影響は限定的との見方からか寄り後は下げ幅を縮小すると、同日の為替や欧米株も大幅反発となり、翌17日の日経平均株価は月中高値を更新しました。その後は2万円の大台を前にした利食いが重石となって伸び悩みましたが、崩れる動きも見られませんでした。マーケットでは外資系証券会社経由による連日の先物大口買いが話題となった他、日本株売買動向で海外投資家が10月3週から買い越しを続けている事、更に11月頭から下旬までの日本株のパフォーマンスが欧米株より好調な事から、一部の海外勢が投資対象を欧米株から日本株にシフトしているとの噂も聞かれました。

月後半は材料難や過熱感が否めない中、大型株の商いは盛り上がりには欠けましたが、その一方でこれまで静かだった中小型株への循環物色が進み、マザーズ指数は16日に記録した月間安値から月末にかけて10%超反発しました。また日経平均株価は国内勢の売りが続いて2万円の台回復には至りませんでした。海外勢の根強い買いが下支えを果たして終始崩れる事は無く、前月比プラス圏で月末を迎えました。

## ◆ 運用責任者よりお客様へ

### ◆ 11月の運用ならびに今後について（運用や見通しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります）

11月の株式市場は、堅調な米国企業決算や予想を上回る雇用統計などを背景とした円安ドル高の進展が好感され、日経平均株価2万円回復を試すなど、反発の展開となりました。月の後半にかけては、フランス・パリでの同時多発テロや、トルコ軍によるロシア戦闘機撃墜などの地政学リスクが重しとなり、株価は伸び悩む展開となりました。

このような状況の中ひふみ投信では、相場の戻り局面で大きく上昇した大型株の投資比率を下げ、今後の成長が期待される中小型銘柄に投資を行なうとともに、一部を（価格変動がない）現金資産として残すことで上昇相場の反動による下落リスクから資産を守る対応を行ないました。結果として、11月はひふみ投信が中心的に投資する中小型株のパフォーマンスが良かったこともあり、基準価額は前月比で+5.84%と株価指数と比較して大きく上昇しました。組入れ銘柄に関しては、足元のデフレ圧力の高まりを懸念し、ポートフォリオの一部をしまむら（8227）などデフレ環境下でも業績の成長が期待出来る銘柄にシフトしました。

近年の相場は年末高になる傾向があり、今年もその傾向を踏襲するかどうかはわかりませんが、米国の金利上昇イベントを無難に通過したら、年末は高値で推移する可能性が高くなると予想しています。

ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が、予定通り、金利を12月3日に引き下げましたが、予想以上の利下げではなかったため世界的には株安要因になっています。一方で、米国のFRB（米連邦準備制度理事会）のイエレン議長は金利の引き上げを示唆しています。この点はかなり織り込まれているとはいえ、市場のかく乱要因のひとつであることは間違いありません。今後は、これらの当局の金融政策の動向を見極めながら、市場の動向に従った俊敏な対応が必要であると考えております。そして、日米のクリスマス商戦の行方に占われる消費動向、日本の民間設備投資動向、景気ウォッチャー調査、そして当社のアナリストによる会社訪問によるヒアリングなどを考慮して、私たちの強みである「守りながらふやす」運用につとめていきたいと考えています。

2016年は、円安の進展よりは円高に転じる可能性を見据えて、TOPIX（東証株価指数）などの株価指数は上昇が見込みにくい展開になることを予想しています。そのような環境においては、独自の成長エンジンを持っている会社が強みを発揮し、結果的にそのような会社への投資が報われる展開になってくると考えております。

今月も運用部メンバーとともに全力を尽くして運用いたします。引き続きひふみ投信をよろしく願います。

（ひふみ投信 運用責任者 藤野英人）

組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

## ◆ ひふみ投信の概要について

※詳しくは投資信託説明書（目論見書）をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日（休業日の場合、翌営業日）	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金（解約）単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。 ひふみ投信は、税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。	

## ◆ 「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります（**株価変動リスク**）。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります（**為替変動リスクとカントリーリスク**）。したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

## ◆ お客様にご負担いただく費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.0584%（税抜年0.980%）
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.0054%（税抜年0.005%） （なお、上限を年間54万円（税抜50万円）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- ・本資料は、レオス・キャピタルワークス（以下「当社」といいます。）が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（目論見書）の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なういただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】レオス・キャピタルワークス(株)コミュニケーション・センター

電話：03-6266-0123（平日9時～17時）メール：cc@rheos.jp

